



追加型投信 / 内外 / 複合資産

2021年4月 - 月次レポート

市場の動き

4月の海外株式相場は上昇しました。米国では、3月の雇用統計で非農業部門雇用者数が前月比+91.6万人となり、市場予想を上回りました。また、1-3月期の実質国内総生産(GDP)成長率(速報値)は前期比年率+6.4%となりました。欧州では、4月のユーロ圏総合購買担当者景気指数(PMI)速報値は前月から更に改善しました。一方、1-3月期のユーロ圏実質域内総生産(GDP)成長率(速報値)は前期比年率-2.5%と2四半期連続のマイナス成長となりました。

こうした環境下、米国では、長期金利が低下したことに加え、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う経済正常化への期待や好調な経済指標等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う欧州域内の経済正常化への期待等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

一方、国内株式相場は下落しました。国内での新型コロナウイルスの感染拡大や、緊急事態宣言の発令に伴う経済活動の制限による景気悪化懸念等から下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。

海外債券相場は全体では下落しました。前月末に1.7%台前半であった米国10年物国債利回りは、米連邦準備制度理事会(FRB)高官の発言等から早期金融緩和縮小への警戒感が弱まったこと等から低下し、最終的に1.6%台前半で月を終えました。前月末に-0.2%台後半であったドイツ10年物国債利回りは、景気回復期待を背景としたインフレ観測等から上昇し、最終的に-0.2%台前半で月を終えました。

国内債券相場は上昇しました。前月末に0.0%台後半であった10年物国債利回りは、米国長期金利の低下や国内での新型コロナウイルスの感染拡大等から低下基調となり、月末にかけて上昇したものの、最終的に0.0%台後半で月を終えました。

為替市場では、米ドルが米国の長期金利低下等から対日本円で下落しましたが、ユーロはユーロ圏の景気回復期待等から対日本円で上昇し、米ドル/円相場は1.1%の円高、ユーロ/円相場は1.3%の円安となりました。

ライフポイント

ライフポイントは、投資者のみなさまの長期的な資産形成をお手伝いするために、世界の大手年金基金等が使用している分散投資アプローチを投資信託としてご提供するプログラムです。ラッセル・インベストメントの“マルチ・マネージャー・ファンド”を利用し、“マルチ・アセット(資産クラスの分散)、マルチ・スタイル(運用スタイルの分散)、マルチ・マネージャー(運用会社の分散)”という、3段階のリスク分散により、リスク・コントロールを可能にしたポートフォリオを投資者のみなさまにご提案致します。

ラッセル・インベストメントグループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者のみなさまを対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グループの運用資産総額は約36兆円※となっています。(※ 2021年3月末現在、為替換算レート: 110.50円/ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。)

ラッセル・インベストメント株式会社

これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資者のみなさまにご提供致しております。



追加型投信 / 内外 / 資産複合

◆基準価額、純資産総額
(設定日：2006年4月28日)

	基準価額			純資産総額
	前月末	今月末	前月末比	
安定型	16,403円	16,443円	40円	652百万円
安定成長型	18,423円	18,447円	24円	1,441百万円
成長型	20,096円	20,156円	60円	583百万円

◆基準価額騰落率

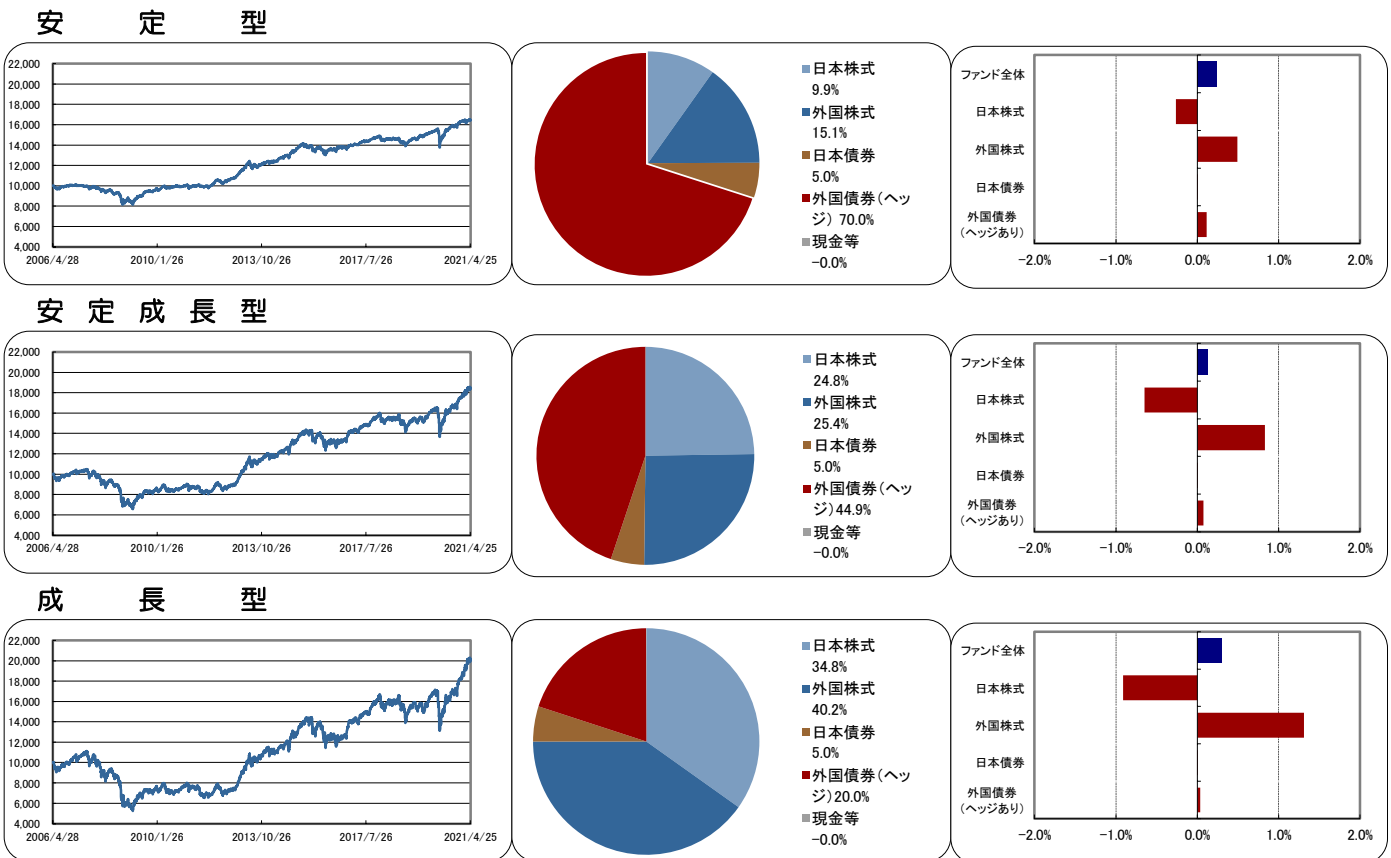
	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
安定型	0.2%	0.7%	4.6%	9.6%	12.6%	64.3%
安定成長型	0.1%	4.4%	12.4%	20.2%	19.4%	84.7%
成長型	0.3%	8.6%	21.7%	32.6%	27.1%	102.0%

◆収益分配金実績
(1万口当たり/税引前)

	安定型	安定成長型	成長型
13期(2018年11月19日)	0円	0円	0円
14期(2019年11月18日)	0円	0円	0円
15期(2020年11月18日)	0円	0円	0円
設定来分配金累計	0円	0円	0円

※収益分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

基準価額推移 組入構成比率 (2021年4月末現在) 各資産クラスの月間寄与度 (2021年4月)



※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。信託報酬率は、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。なお、収益分配金がある場合には税引前の全額を再投資したものととして基準価額の騰落率を計算し、推移をグラフ化します。

※ライフポイントは「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」および「ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド」を親投資信託とするファミリーファンド方式で運用します。なお、各マザーファンドでは、原則として為替ヘッジは行いません。

※各ファンドにおける「ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド」の投資部分については、各ファンドで為替ヘッジを行っています。

※各ファンドにおける組入構成比率のうち、外国債券には為替ヘッジ分が含まれています。

※各資産クラスの月間寄与度は、各マザーファンドの月間騰落率と、各ファンドにおける各マザーファンド組入比率を元に簡便計算したものです。「外国債券(為替ヘッジあり)」の月間寄与度は、各ファンドにおける為替ヘッジの損益を加味して計算しています。なお、月間寄与度の計算に際し、信託報酬等の費用は考慮していません。

※運用成果は過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。

◆運用状況

4月は、安定型、安定成長型、成長型のすべてのファンドが上昇しました。資産ごとの状況を見ますと、外国株式、日本債券および外国債券(為替ヘッジあり)が上昇し、日本株式が下落しました。4月は、外国株式、外国債券(為替ヘッジあり)の組入構成比率が比較的高いファンドに有利な相場展開となりました。

(注)安定型、安定成長型、成長型の3つのファンドを総称して「各ファンド」といいます。

